HOSEI

2020年度
学部生用

Study Abroad Handbook 2020

For Undergraduates /
HOSEI University Global Education Center

法政大学 海外留学の手引き 2020

法政大学 海外留学の手引き 2020
2020年度学部生用

法政大学グローバル教育センター
国際交流課（市ヶ谷キャンパス大内山校舎2F）

〒102-8160　東京都千代田区富士見　2-17-1
TEL：03-3264-9662／FAX：03-3264-4624
受付時間：月～金 9：00～17：00（11：30～12：30を除く）　土 9：00～12：00
http://www.global.hosei.ac.jp

法政大学グローバル教育センター発行

海外協定大学

(海外派遣プログラムのある協定大学)

ヨーロッパ

イギリス　United Kingdom
シェフィールド大学 ● ●
リーズ大学 ● ●
ニューカッスル大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
サセックス大学 ●
ロンドン大学バークベック・カレッジ ●

アイルランド　Ireland
ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

ドイツ　Germany
バーデン=ヴュルテンベルク・デュアル大学カールスルーエ ●
シュトゥットガルト工科大学 ●
ブレーメン大学 ●
ロイファナ-リューネブルク大学 ●

フランス　France
リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ● ●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
パリ・ディドロ(パリ第七)大学 ●
ストラスブール大学 ●
サンジェルマン・アン・レー政治学院 ●
キャンパス・フランス ●
(サンテティエンヌ大学orグルノーブル大学にて実施予定)

スペイン　Spain
ビック大学 ●
バルセロナ大学 ●
コルドバ大学 ●

イタリア　Italy
カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●

オーストリア　Austria
ウィーン大学 ● ●

スイス　Switzerland
サンクトガレン大学 ●

オランダ　Netherlands
NHLステンデン応用科学大学 ●

チェコ　Czech
チェコ工科大学 ●

デンマーク　Denmark
オールボー大学 ●

ロシア　Russia
モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ● ●
国立研究大学高等経済学院 ●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●

オセアニア

オーストラリア　Australia
シドニー大学 ●
アデレード大学 ● ●
ボンド大学 ● ● ●
モナシュ大学 ●
オーストラリア・カソリック大学 ● ●

ニュージーランド　New Zealand
マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●

アジア

タイ　Thailand
タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●

マレーシア　Malaysia
マラヤ大学 ●
アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学 ●
UCSI大学 ●
プトラマレーシア大学 ●

韓国　Korea
延世大学 ●
徳成女子大学 ●
梨花女子大学 ●
ソウル市立大学 ●
ソウル大学経営学部 ●
韓国外国語大学 ●
建国大学 ● ●

中国　China
上海外国語大学 ● ●
中央民族大学 ●
首都師範大学 ●
山東大学 ●
北京師範大学 ●
北京語言大学 ●

台湾　Taiwan
國立中山大学 ●
淡江大学 ● ●
國立政治大学 ●
元智大学 ● ●
國立台湾師範大学 ●

フィリピン　Philippines
南フィリピン大学 ● ■

ウズベキスタン　Uzbekistan
タシケント国立東洋学大学 ●

北米

カナダ　Canada
BCI学生交換プログラム（ケベック） ●
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ● ●

アメリカ合衆国　U.S.A
トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学デイヴィス校 ● ●
ボイシー州立大学 ● ● ●
サンディエゴ州立大学 ● ●
ガステイバス・アドルファス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ● ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ポートランド州立大学 ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ● ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
南カリフォルニア建築大学 ■
ユタ大学 ■
ジョージ・メイソン大学 ●

中南米

メキシコ　Mexico
グアダラハラ大学 ●

●派遣留学協定校 ●認定海外留学推奨校 ●SA(学部ごとに異なります。) ●短期語学研修
■大学院デザイン工学研究科交換プログラム

法政大学イベントカレンダー

	年度	2020												2021		
	学期	春学期					秋学期							春学期		
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降
派遣留学	春	募集要項配布 (窓口・Web) プログラム説明会		5月25日～29日　願書受付 6月中下旬　選考試験 7月　合格発表			オリエンテーション		オリエンテーション	オリエンテーション		2月出発		ポンド大学のみ 4月出発		
	秋						募集要項配布 (窓口・Web) プログラム説明会	10月5日～9日　願書受付 10月下旬　選考試験 12月初旬　合格発表	オリエンテーション				オリエンテーション		オリエンテーション 8～9月出発
認定海外留学	春・秋						募集要項配布 (窓口・Web)		春学期　認定海外留学 11月9日～12月4日　願書受付 12～1月　学部教授会審議 1月　合格発表		1～2月 オリエンテーション 2月出発			秋学期　認定海外留学　6月　学部教授会審議 5月10日～21日　7月　合格発表 願書受付	8～9月出発	
学部独自の 留学プログラム		各学部にて募集、選考、オリエンテーションを行っています。 詳細は各学部にお問い合わせください。														
短期語学研修	夏季 春季	4月中旬～ 募集要項配布 4月下旬～5月中旬 応募期間		5月中旬　オリエンテーション 7月上旬　オリエンテーション		8～9月　研修実施 期間は2～4週間	9月中旬～ 募集要項配布 9月下旬～10月中旬 応募期間		11月中旬　オリエンテーション 1月中旬　オリエンテーション			2～3月　研修実施 2～4週間				
ERP （英語強化プログラム）	春・秋 各学期 募集	春学期　4月初旬～　募集要項配布　4月15日　結果発表 4月7日～13日　応募期間　4月上旬～7月下旬　プログラム受講					秋学期　7月～　募集要項配布　9月末　結果発表 9月下旬～　応募期間　9月下旬～1月下旬　プログラム受講							春学期　4月初旬～　募集要項配布　4月中旬　結果発表 4月上旬　応募期間　4月上旬～7月下旬　プログラム受講		
国際インターンシップ 国際ボランティア	夏季 春季		4月下旬～　募集要項配布 ～5月末　応募期間	選考	7月中旬 オリエン テーション	8～9月 プログラム実施 期間は1～4週間	9月下旬～ 募集要項配布	～10月中旬 応募期間	選考		1月 オリエン テーション	2～3月 プログラム実施 期間は1～4週間				
HUBs (Hosei University Buddy System)	春・秋 各学期 募集				7月中旬～8月　募集 9月初旬　Buddy発表		9月中旬　空港出迎え・キャンパスツアー 秋学期中　留学生の生活サポート					2月中旬～3月　募集 3月中旬　Buddy発表		4月初旬　空港出迎え・キャンパスツアー 春学期中　留学生の生活サポート		
JLP日本語科目 授業ボランティア	春・秋 各学期 募集	4月上旬～ 4月中旬 募集	決定後～7月中旬 各担当授業内で授業運営サポート				9月中旬～ 9月下旬 募集	決定後～1月中旬 各担当授業内で授業運営サポート								
JLP学生スタッフ	春・秋	4月募集予定	Jラウンジの運営、イベント実施、ミーティング、 オリエンテーションサポート等				Jラウンジの運営、イベント実施、ミーティング、 オリエンテーションサポート等									
短期日本語・文化 プログラムボランティア	春・秋 各学期 募集								11月中旬～12月中旬 募集		1月中旬～2月上旬 空港出迎え 留学生サポート					
法政グローバルデイ		イベント 広報	5月10日 イベント実施					実行委員 の募集	キックオフ	イベント 準備				イベント 広報	5月中旬 イベント 実施	
学内行事			5～6月 国際キャリア支援セミナー					9月下旬～ 10月上旬 留学フェア	11月 難民映画祭 学内上映会		1～2月 国際キャリア支援セミナー				5～6月 国際キャリア支援セミナー	

Contents

法政大学イベントカレンダー	3
数字で見る法政大学のグローバル化（2019年度）	4
1. 留学の計画と準備	5
2. 法政大学の留学制度	8
2-1. 全学部学科対象の留学制度	8
(1) 派遣留学制度	9
(2) 認定海外留学制度	13
(3) 短期語学研修制度	17
2-2. 各学部独自の留学制度	18
2-3. その他の留学	25
2-4. 国際インターンシップ・国際ボランティア	27
3. 学内で体験できる国際プログラム	28
4. 留学Q&A	31
5. 留学関連窓口・ウェブサイト	33

数字で見る法政大学のグローバル化（2019年度）

海外派遣学生数
1,639名
※派遣留学、SA、短期プログラム、休学留学等の合計

英語で受講できる科目
466科目
※グローバル・オープン科目、ESOP科目の合計

留学生受入数
1,515名
※正規留学生、交換留学生、短期受入等の合計

休学留学者数
154名

受入交換留学生数
189名

グローバル教育センター ボランティア参加者数
615名
※Welcome Guide、JLPボランティア等の合計

1 留学の計画と準備

留学には、学内・学外プログラム、語学留学・学部留学・インターンシップなどの実践活動など、内容・目的・期間の異なる様々な種類のものがあります。留学を検討する前に、自分の優先順位を整理しましょう。

法政大学の留学制度

留学先で正規課程の授業を履修したい。

- P.9 派遣留学
- P.13 認定海外留学
- P.18 文学部SAプログラム（フォントボン大学コース）
- P.21 GIS Overseas Academic Study Program
- P.22 社会学部SAプログラム（アルバータ大学コース）※1

※1　1学期目：集中英語講座　2学期目：正規課程

外国語を勉強をしたい。

- 長期
  - P.18～ 学部SAプログラム（英語、社会学部のみ中国語もあり）文、経営、国際文化、人間環境、キャリアデザイン、社会、経済
  - P.22 社会学部単位認定海外短期留学制度
- 短期
  - P.17 短期語学研修制度（英語、中国語、朝鮮語、独語、仏語）

専攻に沿った海外研修プログラムを受けたい。

- P.18～ 学部独自の海外留学プログラム
  HOP（法）、国際哲学特講（文／哲）、海外フィールドスクール（国際文化）、キャリア体験学習（キャリアデザイン）、海外フィールドスタディ（人間環境）、海外派遣プログラム（デザイン工学部）、海外研修（現代福祉）、理工・生命科学部SA、海外演習（スポーツ健康）、情報科学部SA

海外でインターンシップ・ボランティアを経験したい。

- P.27 国際インターンシップ
  国際ボランティア

留学の種類と違い

留学には、長期留学（派遣留学、認定海外留学、SAプログラム）や長期休業期間を利用した短期留学（短期語学研修）、休学し個人で手配を行う留学などがあります。本誌や以下の表を参考に情報収集や比較をしてください。

留学制度	授業料（法政）	授業料（留学先）	奨学金	期間	行き方	学内選考	4年間での卒業	単位認定
派遣留学	○	×	○	半年／1年間	協定校（21ヶ国63大学）	○	○（4年次秋から1年留学した場合を除く）	○
認定海外留学	○	○	○	半年／1年間	各自で決定（学位授与機関）	×	○（4年次秋から1年留学した場合を除く）	○
SAプログラム	○	○	○	2週間～1年間	指定の協定校	△（学部による）	○	○
短期語学研修	○	○	△（支給条件あり）	2～4週間	指定の協定校（8ヶ国10大学）	△（応募者多数の場合）	○	△（学部による）
休学して留学	×	○	×	半年～2年間	各自で決定	×	×	×

その他、国際インターンシップや国際ボランティアなど、教育機関以外への留学プログラムもあります。

a. 留学準備をする前に

留学には様々な期間や形態があります。留学準備をする前に、自分の目的や予算に合う留学はどのようなものか考えましょう。

留学の目的は？

1 語学力の向上 ➡ 語学学校で語学を集中的に学習
2 専門分野の学習 ➡ 学部留学で専門科目を現地学生と受講
3 実践的な国際体験 ➡ インターンシップ・ボランティア、ワーキングホリデー

留学期間は？

1 短期（長期休暇中（夏季・春季休暇））
2 長期（半年～1年間）

留学の形態は？

1 長期休暇中に短期留学する
2 学期中に大学のプログラムで留学する
3 休学して留学する

留学の費用は？

1 短期（休暇中）の語学留学：25万円～
2 学部のSAプログラム：短期50万円～
　長期100万円～
3 派遣留学：アジア：80万円～、欧米：140万円～
4 休学しての留学：アジア：100万円～
　アメリカ：250万円～

※授業料、宿泊費、航空券代の概算です。その他に生活費などがかかります。
　また費用は留学先によって異なります。

留学先の探し方は？

1 学部のプログラムで留学する
2 派遣留学・認定海外留学で留学する
3 留学エージェントを活用する
　➡ 法政グローバルデイや留学フェアなどで学内説明会も開催しています。
4 自分で直接申し込みをする

b. 留学を成功させるポイント

(1) 留学に対する明確な目的意識

語学力を向上させたい、自分の専攻分野に関する知識を深めたい、国際体験をしたいなど、まずは**留学の目的を明確に**してみましょう。留学先やプログラムによって得られるものが異なります。本冊子や各大学のホームページを通じて情報収集し、自分にあった留学先やプログラムを見つけましょう。

(2) 必要な語学力と学業成績

留学先の求める語学基準や学業成績（GPA）を事前に調べて、その基準に達するように準備しましょう。語学学校への留学ではどちらも求められないことが多いですが、学部留学の場合は必須となります。

(3) 必要な経済力

上記のとおり**留学先やプログラムによって費用が異なります。**留学先ではアルバイトができないことが多いため、出発前に十分な資金を確保しておきましょう。また奨学金に応募する場合は、応募時期を事前に確認しましょう。多くの場合、出発前年度の秋が応募時期となります。

(4) 留学後の進路

3・4年次秋学期から1年間留学する場合は、帰国が就職活動の時期と重複する場合や卒業が延びる場合があります。また、プログラムに応じて認定される単位数も異なります。留学の準備をする段階から帰国後の進路を考え、卒業に必要な単位を確認しましょう。

c. 留学のスケジュールを立てる

（例）＜派遣留学（春学期入学）の場合＞

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・ERP受講	・秋の留学説明会参加 ・必要な語学検定受験	・5月派遣留学応募、選考試験受験	（留学準備） ・ESOP受講 ・住居、航空券、ビザ手配	・2月出発 （留学中）	（留学中） ・12月帰国 ・単位認定	・就職活動 ・卒論準備	・国際インターンシップ応募 ・3月卒業

※6月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、春休み中にスコアを取得しましょう。

（例）＜派遣留学（秋学期入学）の場合＞

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
・春の留学説明会参加 ・夏季短期語学研修応募	・ESOP受講 ・国際ボランティア応募	・HUBs参加 ・必要な語学検定受験	・10月派遣留学応募、選考試験受験	（留学準備） ・住居、航空券、ビザ手配	・8-9月出発 （留学中）	（留学中） ・5-6月帰国 ・単位認定 ・就職活動	・卒論準備 ・3月卒業

※10月の応募時点で所定のスコア結果が必要なので、夏休み中にスコアを取得しましょう。

あなたのプランを書き出してみよう

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期

Step1：情報を集める

- ☐ 自分の留学の目的を明確にし、将来の進路にどうつなげていくか考える。
- ☐ 各留学プログラムに関する情報を集め、自分に合った留学プランを探す。
- ☐ 留学説明会に参加して、実際に留学に行った先輩の話を聞いてみる。
- ☐ 国際交流課や留学先の各大学ホームページ等で必要な語学力や条件を確認する。

Step2：留学をより具体的に

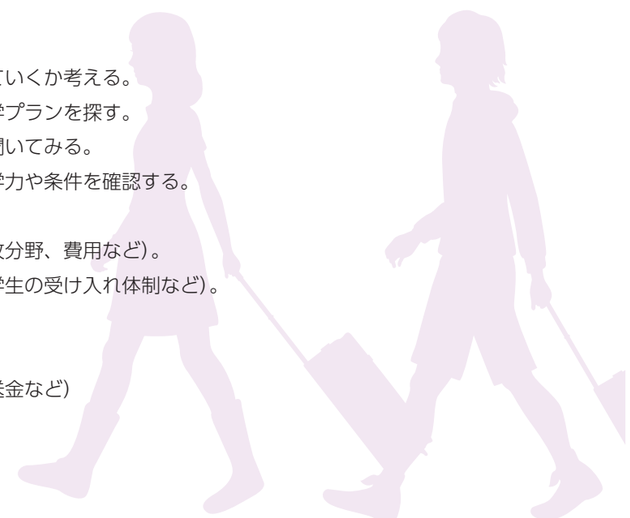
- ☐ 留学先を具体的に絞り込む（国、地域、学校の種類、専攻分野、費用など）。
- ☐ 留学先の学習環境を調べる（滞在方法、治安、施設、留学生の受け入れ体制など）。

Step3：出願、選考、受入れ許可

- ☐ 必要な書類を把握し準備を進め、出願する。
- ☐ 留学に必要な手続きをする（各種書類提出、ビザ申請、送金など）

Step4：渡航準備

- ☐ 住居、航空券、保険加入、クレジットカードなどの手配
- ☐ 現地および国内緊急連絡先の確認



2 法政大学の留学制度

法政大学の留学制度は大きく分けて（1）全学部学科対象の留学制度と（2）各学部独自の留学制度があります。
一口に留学といっても以下のような様々な種類があります。留学の目的に合わせて最適な留学方法を検討しましょう。

2-1. 全学部学科対象の留学制度

“全学部全学科対象の長期留学制度として、**（1）派遣留学制度**、**（2）認定海外留学制度**があります。どちらの制度も留学先で取得した単位を帰国後、所属学部にて単位認定を受けることができ、計画的に履修した場合、4年間で卒業できます（4年次秋学期からの留学を除く）。
また、夏休みや春休みを利用した**（3）短期語学研修制度**も実施しています。”

派遣留学制度と認定海外留学制度

	派遣留学制度	認定海外留学制度
対象	留学年度3・4年次（出願時2・3年次）	留学年度2・3・4年次
留学先	交換留学協定校63大学	自由に選択可能 （学位授与権のある正規の高等教育機関）
期間	留学先の学年暦に準じ、1年間もしくは半期	留学先の学年暦に準じ、1年間もしくは半期
入学形態	正規課程入学のみ	条件付き入学も可 ※条件付き入学は、1学期目は大学付属の語学学校に留学し、2学期目から大学の正規課程に留学すること
学籍	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる。 ※休学ではない。	「留学」扱いとなり修業年限に含まれる。 ※休学ではない。
単位認定	帰国後に所属学部の教授会審査を経て30～60単位を限度として単位認定をする。 ※1年の留学で10～20単位程度の単位認定となる場合が多い。	帰国後に所属学部の教授会審査を経て30～60単位を限度として単位認定をする。 ※1年の留学で10～20単位程度の単位認定となる場合が多い。
本学学費	留学中の学費は全額納入	留学中の学費は全額納入
留学先学費	交換留学協定により免除	本人が負担
奨学金	派遣先により70万円または100万円 （うち20万円は後援会より支給） 半期留学の場合は半額	①「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」30万円（応募選考型） ②「法政大学後援会認定海外留学奨学金」10万円（全員に支給） ③「法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」正規課程入学：50万円、条件付き入学：25万円（海外一流大学へ留学する場合のみ） ※いずれも半期の場合は半額
手続	留学前年の春学期派遣留学：5・6月、秋学期派遣留学：10月に応募し、選考試験を受ける。合格後、国際交流課のサポートの元、本人が必要な手続きを行う。	留学に必要な手続きは、すべて本人が行う。ただし、アメリカとオーストラリアの4大学への認定海外留学プログラムについては、国際交流課を通じて申請を行う（P.14参照）。 ※応募希望者はできるだけ早い段階で国際交流課に相談してください。

(1) 派遣留学制度

世界21ヶ国・地域、63大学へ
毎年約90名を派遣!

派遣留学制度のメリット!

◎派遣留学生全員に地域によって**最大70万円または100万円の奨学金が支給されます！（返金不要）**
◎**留学先での授業料が免除**（法政大学への授業料は必要）
◎4年次に留学した場合、帰国年度（春の場合次年度）の学費が免除されるため**4年間分の授業料で留学可能**

派遣留学協定校一覧

1979年度に発足したこの制度は、米国の3大学へ9名の学生を派遣することから始まり、現在では、協定校21ヶ国・地域63大学に毎年約90名を派遣する留学制度に拡大しています。

国・地域	派遣先大学
アメリカ	トルーマン州立大学 ベイラー大学 カリフォルニア大学デイヴィス校 ボイシー州立大学 サンディエゴ州立大学 ガステイバス・アドルファス大学 ウェストチェスター大学 ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ミネソタ州立大学マンケート校 ウェストフィールド州立大学 ネバダ大学リノ校 ジョージ・メイソン大学
イギリス	シェフィールド大学 リーズ大学 ニューカッスル大学 ブラッドフォード大学 ロンドン大学バークベック・カレッジ
カナダ	BCI学生交換プログラム（ケベック）
オーストラリア	シドニー大学 アデレード大学 ボンド大学 オーストラリア・カソリック大学
中国	上海外国語大学 中央民族大学 首都師範大学 山東大学※
台湾	國立中山大学※ 淡江大学※ 國立政治大学※ 元智大学※ 國立台湾師範大学※
韓国	延世大学※ 徳成女子大学 ソウル大学※ 梨花女子大学※ ソウル市立大学※ 建国大学※

国・地域	派遣先大学
タイ	タマサート大学※ チュラロンコン大学※
マレーシア	マラヤ大学※
ドイツ	パーダーボルン・デュアル大学カールスルーエ※ シュトゥットガルト工科大学※ ブレーメン大学※
オーストリア	ウィーン大学※
スイス	サンクトガレン大学※
チェコ	チェコ工科大学※
オランダ	NHLステンデン応用科学大学※
フランス	リヨン第三大学※ 西部カトリック大学※ ヴェルサイユ大学※ パリ・ディドロ（パリ第七）大学※ ストラスブール大学 サンジェルマン・アン・レー政治学院※
デンマーク	オールボー大学※
スペイン	ビック大学※ コルドバ大学※
イタリア	カルロ・カッターネオ大学※ ヴェネツィア大学※
ロシア	モスクワ国立大学 サンクトペテルブルク国立大学 国立研究大学高等経済学院※
ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学
メキシコ	グアダラハラ大学

ピンク色：春学期入学
青色：秋学期入学
※英語受験が可能な英語圏以外の協定校

留学時期・期間

・春学期入学（オーストラリア・韓国）の場合：3年生または4年生の春学期から1年間もしくは半期
・秋学期入学（上記以外の国・地域）の場合：3年生または4年生の秋学期から1年間もしくは半期
※留学先協定校の学年暦（Academic Year）に基づく。

主な応募条件・資格

・応募時に本学2年次または3年次に在籍している学部生
・修士課程の場合、2年コースは1年目秋学期及び2年目春学期に、3年コースは1年目の秋学期及び2年目春学期・秋学期に在籍している大学院生
・博士課程の場合、1年目秋学期・2年目春学期及び秋学期・3年目春学期に在籍している大学院生
・出願時直近のセメスターまでを通算した**成績評価係数（GPA）2.30以上**（4.0満点）
・語学能力（各種外国語の資格または筆記試験）

例）英語受験：IELTS 6.0以上またはTOEFL iBT® 71点以上～
ドイツ語受験：ドイツ語技能検定3級以上またはGoethe-Zertifikat A2以上
フランス語受験：実用フランス語技能検定準2級以上またはDELF・DALFランクA2以上
イタリア語受験：実用イタリア語検定3級以上
スペイン語受験：DELE A2以上またはスペイン語技能検定4級以上
中国語：HSK4級以上、中国語検定試験4級以上、TOCFL Superior（高階級）以上
ロシア語：ロシア語能力検定試験3級以上
朝鮮語：ハングル能力検定試験準2級以上、韓国語能力試験4級以上
※ロシア語・朝鮮語に関してはスコア未取得の場合、筆記試験を受験

※応募条件に関する詳細は必ず国際交流課で配布の募集要項で確認してください。

応募方法

・募集期間（春学期入学：5月下旬～6月上旬、秋学期入学：10月中旬）に必要書類（願書・語学スコア・成績など）を国際交流課へ提出　※応募の時点で上記資格が必要です！
・選考試験（春学期入学：6月中旬、秋学期入学：10月下旬または11月上旬）を受験（筆記試験および面接試験）
※筆記試験は朝鮮語・ロシア語受験のスコア未取得者のみ

★派遣留学応募のポイント★
・倍率は毎年1.5倍程度！応募資格を満たしていれば、挑戦する価値あり!!
・1年生のうちから語学力向上に努め、学業成績（GPA）をおろそかにしないこと！
・面接試験でしっかりと留学の目的を話せるよう、派遣先大学の情報収集を積極的に行うこと。

奨学金

・法政大学派遣留生学奨学金：渡航費、寮費、保険料および生活費等の補助として派遣留学生全員に下記の奨学金が支給される。（返還不要）
★中国・台湾・タイ・マレーシア・ウズベキスタン・メキシコ→**70万円（半期留学は35万円）**
★上記以外の国→**100万円（半期留学は50万円）**
・派遣留学に加えて、留学中の長期休暇等を利用した企業でのインターンシップやその他自身が立案したプロジェクト等の実施を計画している場合、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム（⇒P.26参照）奨学金を申請可能。
・春派遣は4年次に1年間、秋派遣は4年次に1年間もしくは半期留学する場合、帰国年度もしくは次年度の学費は免除される（諸会費を除く）。

学習内容

・一部の大学を除き、派遣留学生は派遣先で開講される**学部授業を全て履修する**ことができます。ただし、派遣先により履修可能な科目が異なりますので、グローバル教育センターWebサイトの**「各国別協定校情報」ページ**の各協定校ページ、協定校のWebサイト、**先輩派遣生の報告書**にて確認してください。
※履修前提科目がある場合や受講定員の制限があり、履修できない科目もあります。
※派遣先によっては所属した学部の授業のみ履修可能な大学もあります。
※学部ごとに語学要件が設定されており、その要件を満たしていないと履修できない場合があります。
・派遣先では、**自身の専攻分野や興味のある専門科目**を履修します。
・専門科目に加え、語学の授業を履修することもできます。
・履修できる科目数は派遣先によって異なり、上限4科目～無制限に履修可能な大学まであります。過去の実績では、**1学期に3～5科目**を履修する場合が多いです。

単位認定

・派遣先で取得した単位は所属学部にて上限30～60単位で単位認定を受けることができます。
・**単位認定の基準は学部学科によって異なります**ので、所属学部にてご確認ください。
・認定される単位数は、授業時間によって決まり、**1,350分で2単位、2,700分で4単位**となります。
※派遣先大学の単位数がそのまま法政大学で認定される単位数にはなりません。
・過去の実績では、1年間の留学で最大24単位の認定となります。派遣留学前に計画的に履修するように努めてください。

留学中の住居

・派遣留学中の住居は、大学の寮、ホームステイ、ルームシェア、1人暮らしなど**自分で選択することができます。**
・大学の寮はミールプランを選択することができ、ミールプランに加入すると大学のカフェテリアで食事をとることができます。ミールプランの有無、料金や条件は大学によって異なります。
※派遣先大学によっては寮に住むことが必須の場合があります。
・大学によっては寮に限りがあったり、寮がないため、寮以外の住居を選択する必要のある場合があります。
・**住居の手続きは自身で行い、**派遣先大学を通じて手配するか個人で手配します。

留学にかかる費用

・派遣留学にかかる主な費用は以下のとおりとなります。
ビザ取得費用、海外旅行保険、留学先の保険、往復航空券、宿泊費、食費、教科書代、生活費
・留学にかかる総費用は留学先や生活スタイルによって異なります。欧米の大学に1年間派遣留学した場合は、**平均140万円程度**の費用となります。
※旅行など留学と直接関係のない費用は含んでいません。

数字で見る派遣留学（2019年度派遣留学）

派遣留学者数

93名

英語圏以外に英語で留学した学生

26名

諸外国語で留学した学生

34名

留学開始時の学年

3年次：31名
4年次：61名

費用

アジア：70～90万円
欧　米：100～160万円

倍率

1.53倍

HOSEI → Global — 派遣留学体験談 —

藤岡 沙也花

派 遣 先：トルーマン州立大学（アメリカ）
所属学部：生命科学部応用植物科学科

アメリカのミズーリ州で留学したことは自分にとってかけがえのない財産となりました。派遣留学では専門科目から教養科目まで自分で自由に講義を選択できるところが魅力です。学びたいと考えていた専門科目の農業科学や生物学、植物学だけでなく、音楽や美術なども受講しました。同時期に入学した他の留学生たちと仲良くなり、毎日図書館で夜まで一緒に勉強したり、休暇中には他の州へ旅行に行ったりしていました。勉学だけでなく、課外活動としてアルティメットフリスビーチームやアウトドアクラブにも参加し、現地のアメリカ人学生と過ごしたことで、アメリカの文化、日本との違いを肌で感じることができたのは留学での一番の思い出のうちの一つです。このような楽しかったことだけでなく、ハウスメイトとの揉め事など大変だったこともありましたが、それも含め様々な面で成長することができた留学生活だったと感じています。もし留学に少しでも行きたいと考えている学生は、挑戦することをお勧めします。

舘内　里佳

派 遣 先：淡江大学（台湾）
所属学部：社会学部社会政策科学科

私は国際企業学科に所属し、貿易について学んでいました。留学中、空きコマでは交友関係を広げるために日本語のボランティアと太極拳サークルに参加しました。そこでできた友達と留学生活のほとんどを一緒に過ごし、いつも助けてもらっていました。太極拳は日頃の気分転換になるだけでなく、発表会に出れる程度に一通りできるようになりました。私が帰国した後、日本に遊びに来てくれたり、今も頻繁に連絡を取り合ったりしています。留学中はいろんな人たちに会い、いろんな考えを聞き、良い刺激を受けてきました。初めて知ることもたくさんあり、視野が広がったと思います。これらの活動をしたことで私の留学生活は楽しく、充実したものになったので、あの時、チャレンジしてみて本当に良かったと思っています。思い切ってチャレンジしてみることの大切さを実感したとともに、海外で約1年間生活できたことは今の自信に繋がっています。留学が楽しくなるかは自分の考え方や行動次第だと思います。留学でしかできない貴重な体験をぜひしてきて下さい。

藤本　尚希

派 遣 先：ストラスブール大学（フランス）
所属学部：文学部哲学科

何よりもまず「準備」がとても重要になってきます。様々な情報に簡単にアクセスできる時代なのでたくさん調べましょう。その上で、実際に現地へ行って感じた体験は、本当に価値ある体験になると思います。そしてそれは自分にしかできない体験でもあり、今後の人生に深く影響していくものとなります。
また、「行動力」も非常に重要となってきます。私は普段から何かをしていないと気が済まない性分なので、無意識的に、且つ積極的に様々なことに参加していました。世界中の学生との交流、現地の小学生に日本語を教えるボランティア、一人旅等々、1年間という期間とは思えないほど濃い日々を過ごすことが出来ました。こんな内容の詰まった1年は、今後二度と訪れないかもしれません。まず今を全力で生きましょう。何もしていなくても1年はすぐに過ぎ去ります。たかが1年、されど1年。人生の中の1年を留学に捧げてみてはどうでしょう！

(2) 認定海外留学制度

認定海外留学制度のメリット！

・協定校に関係なく、**自由に留学先を選ぶ**ことができる（正規の高等機関で学位授与権のある大学）
・**条件付入学**（1学期目に大学付置語学プログラム、2学期目に正規課程を履修）を選択可能
・留学先や条件付入学の場合、**派遣留学より低い語学スコアでの留学が可能**（TOEFL-iBT61点等）
・**2年次にも留学でき**、計画的に単位を修得した場合**4年間で卒業可能**（4年次秋学期留学を除く）
・**アメリカとオーストラリアの協定校への認定海外留学プログラム**もスタート！

留学時期・期間

・2～4年次の1年間もしくは半期　※留学先大学の学年暦（Academic Year）に基づく
　※条件付き入学（1学期目に大学付置語学プログラム、2学期目に正規課程を履修）も選択可能です。

主な応募条件・資格

・留学希望大学からの**入学許可書**を得ている者、または得る見込みのあるもの
・学位授与権を有する**正規の4年制大学**において正規課程を履修し、単位を取得することが目的であること。（留学先大学での卒業は認めない。）
・条件付き入学は2年次か3年次に留学を開始する場合のみ選択可能です。
・語学プログラムのみの応募はできません。
　※応募条件に関する詳細は必ず国際交流課で配布の募集要項で確認してください。

応募方法

・募集期間（春学期入学：11月下旬－12月中旬まで、秋学期入学：5月中旬－5月下旬まで）に必要書類を国際交流課へ提出

★認定海外留学応募のポイント★

・希望先大学への申請手続きはすべて自分で行うため、各自早めに情報収集を行うこと。
・応募する時点で入学許可書を入手している必要があるため、計画的に準備を行うこと。
・法政の授業料に加え、留学先大学の授業料も納入の必要があるため、経済的な計画も立てておくこと。

奨学金

・「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」**30万円**（全員に支給）
・「法政大学認定海外留学奨学金」**10万円**（全員に支給）
・「法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」（留学前年度のTimes higher education supplementのworld university rankings top 200以内の大学への留学者のみ）
　正規課程入学の場合**50万円**、条件付き入学の場合25万円

認定海外留学に関するよくある質問

・留学先はどのように見つければ良いですか？
　→P.6「a. 留学準備をする前に」の「留学先の探し方は？」をご参照ください。
　学内でも5月に実施するグローバルデイや10月に実施する留学フェアを通じて情報を得ることが可能です。
・休学留学との違いは何ですか？
　→P.31「留学Q&A」をご参照ください。

「認定海外留学制度」を利用した、全学部学科対象の私費留学プログラムを実施しています。秋派遣は、ボイシー州立大学（アメリカ・アイダホ州）とミネソタ州立大学マンケート校（アメリカ・ミネソタ州）、春派遣はオーストラリア・カソリック大学（オーストラリア・ニューサウスウェールズ州他）、ボンド大学（オーストラリア・クイーンズランド州）があり、留学期間も１年間、半期から選択可能です。詳細についてはグローバル教育センターのホームページや、国際交流課で配付の募集要項で確認してください。

		ボイシー州立大学	ミネソタ州立大学マンケート校	オーストラリア・カソリック大学	ボンド大学
留学国		アメリカ		オーストラリア	
留学期間	1年（2セメスター）	8月中旬～翌年5月中旬		2月/4月～11月下旬　※1	5月～12月
	半期（1セメスター）	8月中旬～12月下旬		2月～6月下旬	5月～8月
応募期間		1月下旬		7月下旬～8月上旬（予定）	
留学形態		●正規入学（1学期目、2学期目ともに正規課程）留学時2～4年生 ●条件付入学　※1年留学のみ（1学期目：英語コース　2学期目：正規課程）留学時2～3年生 ※オーストラリア・カソリック大学の2月出発の人は、翌々月の4月からの年度を留学時年度とする		
募集人数		各大学最大10名（正規・条件付合計）			
応募要件（最低スコア） ※IELTSはAcademic Module		正規入学	条件付入学	正規入学	条件付入学	正規入学	条件付入学	正規入学	条件付入学
		IELTS 6.0 または TOEFL-iBT 68	IELTS 5.5 または TOEFL-iBT 61	IELTS 5.5 または TOEFL-iBT61	IELTS 5.0 または TOEFL-iBT 54	IELTS 6.0 または TOEFL-iBT 79	IELTS 5.0/5.5 ※1 または TOEFL-iBT 55/40	IELTS 6.0 または TOEFL-iBT 60	IELTS 5.5 または TOEFL-iBT 50
		GPA2.25以上		GPA2.0以上		GPA2.0以上		GPA2.0以上	
概算費用（留学先授業料、寮費、食費、保険料等） 上段：1年 下段：半期		約270万～400万円		約200万～240万円　※2		約200万～370万		約220万～270万円	
		約180万～200万円		約105万～120万円　※2		約140万～190万		約135万～150万円	
		※上記以外に、留学先への航空券費用、ビザ費用、教科書代、本学の授業料等がかかります。 ※為替レートの変動等により、費用が変わることがあります。 ※日本で加入する海外旅行保険とは別に、留学先大学独自の保険への加入も必要になります。							
申請可能な奨学金		・「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」※3 ・「法政大学後援会認定海外留学奨学金」※3 ・JASSO「海外留学支援制度（協定派遣）」奨学金　※4　他							
備考		・条件付入学の方も、2学期目から正規課程を履修するために、渡航までに、正規入学要件と同じ英語スコアを取得する必要があります。							

※1…オーストラリア・カソリック大学の条件付入学は、IELTSスコアが5.0～の人は2月、5.5～の人は4月と、留学開始時期が異なります。（正規入学の留学開始は4月）
※2…マンケートの学費は、マンケート独自の奨学金が適用になった金額。1期目は全員が受給。2期目の受給には条件があります。
※3…ボイシー州立大学、ボンド大学のみ対象
※4…本プログラムがJASSO奨学金に採択された場合のみ。JASSO基準のGPAを満たしていて、かつJASSOが指定する家計基準を満たしている学生に支給。詳細は募集要項を参照のこと。

HOSEI → Global — 留学と就職活動 —

国内市場の縮小により企業の海外市場進出が進んだ結果、市場拡大による競争が激化し、多くの企業が**「グローバル人材」**の採用を進めています。留学前にグローバル人材に求められること、就職活動のスケジュールなどを把握することが、留学経験を活かした就職活動に繋がります。

グローバル人材に求められるもの

「語学力」は、あくまで**ツール**です。企業が「グローバル人材」に求めるものは、「語学力」に加え、**「行動力」**、**「バイタリティ」**、**「コミュニケーション能力」**、**「日本の常識にとらわれない発想」**、**「リーダーシップ」**です。留学中は「語学力」の向上だけでなく、何か挑戦する目標を定めて、留学前から意識的に＋αの行動を計画してみましょう。また、毎年約10万人の大学生が留学をしています。その中で差別化を図るためには、「海外経験」、「留学」以外でアピールできることがあるということも重要です。

※＋αの活動の実例

- **現地学生が所属するクラブに入り、公式戦に出場した。**
- **留学先大学主催のイベントに通訳として参加し、来賓の対応を行った。**

長期留学と就職活動

3・4年次の秋学期から1年間留学をする場合、**留学期間と就職活動が重複**してしまいます。帰国時には、エントリーシートの提出、筆記テスト、面接が始まり、内定を出している企業もあります。

一方、採用を終えている企業は一部であり、大手企業の多くは優秀な留学経験者を採用して採用活動を終えようとしています。

自己分析・自己PR

留学から帰国後すぐに就職活動をすることとなります。留学中の記憶が新しい内に留学体験の振り返りを行い、自己PR文の作成まで進めることができればベストです。

企業・業界研究

留学前に企業・業界研究、特にB to B企業(企業(法人)に対して事業や商取引を行う企業）は海外売上率が高く経営が安定している企業が多いですが学生からの知名度が低いです。グローバル系の就職フォーラムや就職四季報で日本にいる間に情報収集をしましょう。

海外で行われる就職フォーラム

ボストン、ロンドンなどで、留学中の学生を対象とした就職フォーラムが開催されています。日系企業が説明会だけでなく採用面接も行い内定を出す企業もあります。

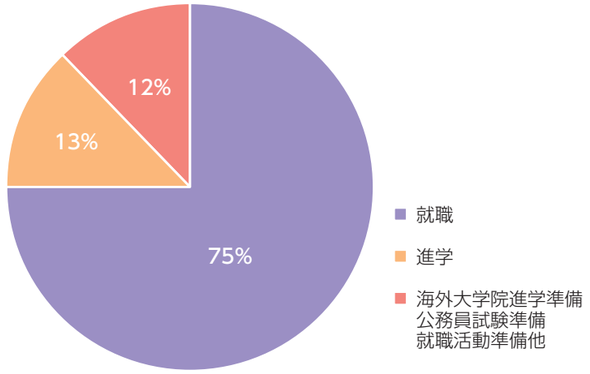
プレエントリー ・企業へのコンタクト

プレエントリー開始後は積極的に応募しましょう。筆記や面接が受けられない場合、企業に問い合わせをしましょう。

国際キャリア支援セミナー

グローバル教育センターでは、留学前後の学生を対象とした学内国際キャリア支援セミナーを開催しています。留学前は、グローバル人材の採用における企業の着眼点や海外経験の効果的なアピール方法など、留学後は、留学中の就職活動方法や海外での就職フォーラム対策などのセミナーやワークショップを行います。

派遣留学・認定海外留学生の卒業後の進路（2015～2017年度留学生）



日産自動車㈱、トヨタ自動車㈱、日立製作所㈱、古河機械金属㈱、パナソニック㈱、TOTO㈱、サムスン電子ジャパン㈱、三菱マテリアル㈱、明電舎㈱、ヨネックス㈱、ソフトバンク㈱、㈱阪急交通社、東京ガス㈱、国際石油開発帝石㈱、㈱カネボウ化粧品、㈱資生堂、㈱凸版印刷、日本放送協会（NHK）、全日本空輸㈱、日本通運㈱、㈱アサツーディ・ケイ、㈱KADOKAWA、アクセンチュア㈱、PWCコンサルティング合同会社、楽天㈱、㈱三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行㈱、日本銀行、三菱UFJモルガンスタンレー証券㈱、東京都庁、（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）、オックスフォード大学大学院、サセックス大学大学院、サンクトペテルブルク国立大学大学院、パリ・ソルボンヌ大学大学院、北海道大学大学院、早稲田大学大学院

笹原　啓人

2019年　法学部国際政治学科卒業
2018年度グアダラハラ大学（メキシコ）派遣留学生
勤務先：株式会社アシックス

留学前から就職に関する漠然とした不安感はあったが、留学中に何かアクションを起こすことはなかった。「まあなんとかなるだろう。」と思っていた部分もあり、結果として帰国後の6月中旬に全くのゼロからスタートした。

私は「法政大学バンザーイ」みたいな人間では全くないが、就活ではかなり大学に助けられた。何もわからなかったのでまずはキャリアセンターに行ってみたが、相談に乗ってくれたのがとても良い方でほぼ毎日相談に行った。また、偶然にもこの年に国際交流課とキャリアセンターによる帰国生向けの企業説明会が開催され、それを通じて採用された。選考の中でもメキシコでの経験を評価されたので、留学がポジティヴに働いたといえる。

進路のために留学したわけではないが、留学したからこそ見えた道であるのも事実だ。そう思わずとも就活や進学で留学が活きることは絶対にあるので、まずは決意し留学そのものを充実させることが何より大切だと思う。

佐藤　那桜

2019年　経済学部国際経済学科卒業
2017年度リーズ大学（イギリス）派遣留学生
留学先：サセックス大学（イギリス）社会開発学修士課程

開発学分野世界最高峰のサセックス大学大学院で学ぶ！これが私の大学2年生からの夢でした。しかし、英国の修士課程は1年のみと短く、ノンネイティブの私は学部時代に英語環境で学ぶ事に慣れておく必要があると感じました。そこで、派遣留学プログラムで4年生の秋学期から1年間リーズ大学へ行かせて頂くこととなりました。リーズ大学での経験は、英語力はもちろん、英国のアカデミックスタイルに慣れるなど現在の修士課程において大きな助けとなっています。また、大学でただ勉強するだけではなく、友人と日本文化を発信する事を目的とした団体を立ち上げイベントを開催しました。資金調達や協賛交渉など様々な事に挑戦し、3000人近い来場者数の集客に成功する事が出来ました。海外という慣れない土地で何かに挑戦する事も留学の魅力だと思います。また、それによって得られるものも大きいと思います。皆さんも挑戦に満ちた留学をしてみてはいかがでしょうか？

(3) 短期語学研修制度

短期語学研修のメリット

◎**語学レベル・GPAなどに関係なく**、参加ができる
◎英語圏、非英語圏など、**バラエティに富んだ研修先**から選択可能
◎自分の**レベルに合ったクラス**で、語学・文化などを無理なく学ぶことができる
◎学部によって、**単位認定・卒業所要単位への算入**も可能　※詳細は所属学部にてご確認ください

研修実施時期

夏季（8～9月）、春季（2～3月）

応募条件

本学の学部1～4年次に在籍していること。（休学者、通信教育部在籍者は除く）

研修先

研修先大学名	国名	言語	実施時期	募集人数	研修期間
APU（Asia Pacific University of Technology and Innovation）	マレーシア	英語	夏、春	20	約4週間
UCSI大学			夏、春	20	約4週間
ポートランド州立大学	アメリカ		夏、春	25	約3～4週間
ヴィクトリア大学	カナダ		夏、春	25	約3～4週間
北京語言大学	中国	中国語	夏、春	10	約4週間
淡江大学	台湾		夏、春	10	約2～3週間
建国大学	韓国	朝鮮語	夏、春	10	約2～3週間
ウィーン大学	オーストリア	ドイツ語	夏	5	約4週間
グルノーブル大学またはサンテティエンヌ大学	フランス	フランス語	夏、春	5	約4週間

※研修先は変更になる場合もあります。また研修先によって募集を行わない場合もあります。
※2020年度夏季は英語圏のみの募集となります。

費用

約200,000～550,000円（研修先による）※為替レート、航空券費用などで変動します。
（授業料、滞在費、海外旅行保険費、往復航空券が、上記費用に含まれます）
※その他、食費、現地交通費等が別途必要。（一部食事も含まれているコースあり）

申込方法

募集期間（夏季：4月、春季：9月）にグローバル教育センターのホームページよりオンラインで申し込む。（希望者多数の場合は抽選）

吉岡　　秀

留 学 先：APU（マレーシア）
所属学部：経営学部市場経営学科

マレーシアでの短期語学研修は今までの海外経験の中で最も充実した３週間になりました。当初は「多くの人とコミュニケーションを取りたい！」との思いで行くことを決断しましたが、まさしくその通りの語学研修になりました。現地での授業は英語の基礎から始まり、リスニング、プレゼンテーション、グループディスカッションなど日本ではなかなか体験することのできないことばかりでした。放課後や休日はマレーシア内を観光し、時には現地の留学生と出かけたり、食事をしたりしました。多くの人と接する中で、良好な人間関係を築くために必要な心掛けや立ち振る舞い、そして他人との協調性を意識させられる場面も多くあり、語学力よりもこれからの時代に求められるヒューマンスキルを学ぶことができたと感じています。そして、今後はマレーシアで得られた経験や人脈、知識を活用して長期的な留学に行きたいと強く考えています。

★詳細は、グローバル教育センターのホームページや、配布している募集要項及び留学説明会などでご確認ください。

2-2. 各学部独自の留学制度

法政大学は全学部全学科対象の留学制度の他に、全学部で各学部独自の留学制度や海外研修プログラムを実施しています。詳細は必ず各学部窓口にて確認してください。
※留学の費用については、為替の変動等により大幅に変わる可能性があります。

法学部　Hosei Oxford Programme（HOP）

対　　象	国際政治学科全員（必修）、法律学科・政治学科（希望者）	
留 学 先	イギリス	フィリピン
期　　間	1年次夏休みの約10日間	1年次夏休みの約15日間
内　　容	オックスフォード大学の施設を使い、定評のあるイギリスの英語学校の教員による英語の授業を受けるほか、グループに分かれて調査及び英語での発表を通じて英会話能力とプレゼン能力を向上させる。	セブ島にある南フィリピン大学で、毎日マンツーマンの英会話レッスン及び生徒3人程度に教員1人の少人数の英語の授業をそれぞれ約3時間ずつ、週5日間にわたって受講し、英会話能力を向上させる。
費　　用	法政の学費とは別に40万円程度必要	法政の学費とは別に30万円程度必要
奨 学 金	(A) 参加者全員に4万円を支給 (B) 特に学業成績が優れ、現地研修で優れた成果をあげた者10～50名程度に1～5万円程度を加算して支給	
手　　続	土曜日の3・4限に開講される国際政治学科の必修科目「Hosei Oxford Programme」の履修者のみが参加できる。手続きの詳細は授業内で説明。	

文学部哲学科　国際哲学特講

対　　象	哲学科2～4年次までの希望者（定員20名で超える場合は選抜）
留 学 先	フランス　ドイツ
期　　間	2月の約1週間
内　　容	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）とハイデルベルグに滞在し、そこを拠点にハイデルベルグ大学（ドイツ）とストラスブール大学（フランス）で合同ゼミ等を行う。
費　　用	法政の学費とは別に20万円程度必要
奨 学 金	旅費総額の25％（上限5万円）を補助として支給
手　　続	4月上旬　ガイダンス実施 4月中旬　応募書類を文学部窓口に提出 4月中旬　参加者決定（原則書類選考）

文学部英文学科　SAプログラム

対　　象	英文学科1～4年次までの希望者（学内選考あり）	英文学科2～4年次までの希望者（学内選考あり）		
留 学 先	アイルランド	アイルランド	アメリカ	カナダ
期　　間	夏休みの3週間	秋学期の約3ヶ月間～7ヶ月間		秋学期の約3ヶ月間
内　　容	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリンでの語学研修プログラムに参加し、他国からの留学生と机を並べ、英語力を集中的に身につける。		フォントボン大学で正規学生として専門科目も履修する。	ヴィクトリア大学で語学研修プログラムに参加し、他国からの留学生と机を並べ、英語力を集中的に身につける。
費　　用	法政の学費とは別に50万円程度必要	法政の学費とは別に100～190万円程度必要	法政の学費とは別に190～270万円程度必要	法政の学費とは別に100万円程度必要
奨 学 金	審査の結果承認された者に5万円程度支給（SA先毎の人数により変動あり）	審査の結果承認された者に20万円程度支給（SA先毎の人数により変動あり）		
手　　続	10月下旬～11月上旬　説明会実施 11月中旬　応募書類を文学部窓口に提出 12月中旬　参加者決定（原則書類選考）	10月下旬～11月上旬　説明会実施 11月中旬　応募書類を文学部窓口に提出 12月上旬　面接 12月中旬　参加者決定		

経営学部　SAプログラム

対　象	申請時に1～3年次に在籍し、必要な要件を満たす経営学部の希望者（定員約30名、学部内選考あり）※GBPの学生は除く
留学先	アメリカ　オーストラリア
期　間	2～4年次秋学期の約3～4ヶ月間
内　容	ネバダ大学リノ校（アメリカ）、モナシュ大学（オーストラリア）の英語教育機関でレベル別の語学研修プログラムを受講する。
費　用	法政の学費とは別に100～130万円程度必要（留学先により異なる）
奨学金	学業成績が優れている者に前年度旅費総額の30％程度を支給
手　続	1. 10月中旬～11月中旬に必要書類を学部窓口に提出 2. 書類選考通過者は12月上旬に面接を実施

国際文化学部　SAプログラム

対　象	国際文化学部生全員（必修）※外国人留学生入試、海外指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、済州特別自治道教育庁推薦入試で入学した学生はスタディ・ジャパンに参加
留学先	イギリス　アメリカ　オーストラリア　カナダ　ドイツ フランス　ロシア　中国　スペイン　韓国
期　間	2年次秋学期の約3～6ヶ月間
内　容	シェフィールド大学・リーズ大学（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校・ミシガン州立大学・ボストン大学（アメリカ）、ヨーク大学・トレント大学・ブロック大学（カナダ）、モナシュ大学（オーストラリア）、ロイファナ-リューネブルク大学（ドイツ）、西部カトリック大学（フランス）、ペテルブルク国立交通工科大学（ロシア）、上海外国語大学（中国）、バルセロナ大学（スペイン）、韓国外国語大学（韓国）において、留学先の言語とその国の文化に対する理解を深めることができるプログラムを受講する。
費　用	留学先により61～229万円程度
奨学金	(A) SA参加決定者全員に25万円 (B) (A) のうち特に学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者に上限60万円を加算して支給（金額は留学先によって異なる） (C) (A) のうち特に教育上経済的援助が必要な者に上限60万円を加算して支給（金額は留学先によって異なる）
手　続	1年次4月にSA先希望登録票を提出。SA英語圏は9月に最終希望登録票を提出。11月頃にSA先決定通知を大学から発送。

国際文化学部　海外フィールドスクール

対　象	(1) 国際文化学部SA・SJ修了者 (2) 国際文化学部生以外は、法政大学が実施する異文化交流プログラムに参加した2年次以上であること。なお、異文化交流プログラムに参加し、単位修得していることが望ましい。 (1) (2) から参加を募り、学内選考あり。
留学先	タイ　ミャンマー　フィリピン　ラオス（年によって開講するコース、地域が決定される。詳細は説明会で発表）
期　間	夏休みの1週間～10日程度
内　容	東・東南アジアをフィールドに、開発と文化、表象文化、環境と文化の3つのコースで実施。主に①講義、②フィールドでの調査や制作、③成果の発表の3つのモジュールで構成され、専門性の高い知識、研究手法、表現方法を修得する。
留学費用	留学先により6～16万円程度
奨学金	特になし
手　続	4月の募集期間に必要書類を学部事務に提出し、書類選考と面接で派遣者を決定。

キャリアデザイン学部　キャリア体験学習（国際）

対　象	2～4年次に在籍しているキャリアデザイン学部の希望者（体験型選択必修科目）（定員各10名、学部内選考あり）
留学先	台湾　ベトナム
期　間	夏休み中の2週間程度
内　容	現地の歴史や文化を学ぶとともに、現地大学生との交流、現地企業へのインターンシップ及び現地でのフィールドワークを行う。
費　用	法政の学費のほか、10万円程度（2019年度実績）
奨学金	総費用のうち、学部が半額を補助する。上記「費用」の金額は、補助実施後の金額。
手　続	3月下旬に実施される体験型選択必修科目のガイダンスに必ず出席し、ガイダンスの指示に従い申し込むこと。定員を超えた場合、面接を実施することがある。
その他	春学期の「キャリア体験事前指導（国際）」と秋学期の「キャリア体験学習（国際）」のセットで履修すること。 このほか、体験型選択必修科目のうち「キャリア体験学習A・B」の一部授業で海外企業へのインターンシップを実施している。

人間環境学部　SAプログラム

対　象	申請時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍している人間環境学部の希望者　※SCOPE生を除く
留学先	オーストラリア
期　間	2～4年次秋学期の約3ヶ月半
内　容	ボンド大学の英語教育機関で英語を集中的に学ぶ。
留学費用	法政の学費とは別に100万円程度
奨学金	参加決定者に研修費用等の30％（30万円程度）を支給
手　続	必要書類を人間環境学部窓口へ提出（11月中旬締切）。1月中旬に面接試験を実施。1月下旬に参加学生決定。

人間環境学部　海外フィールドスタディ

対　象	1～4年次に在籍している人間環境学部の希望者（各コース定員20～25人、学部内選考あり）
留学先	東南アジア　中国　ヨーロッパ　オーストラリアなど　※年度により変わります。 2019年度実績：フランス・ドイツ・オランダ、オーストラリア、ハワイ
期　間	夏休みまたは春休みに5～16日程度
内　容	キャンパスを出て現地に身を置き、その国の社会環境や自然環境を肌で感じ、さまざまな体験を通して問題意識を高めるために設けられている科目
費　用	法政の学費とは別に12～35万円程度（研修先により異なる）
奨学金	参加決定者に研修費用等の50％（上限9万円）までを奨励金として支給（奨励金の支給は在学中1回限り）
手　続	・Ⅰ期（夏休みに実施）：必要書類をウェブ上で提出（5月中旬締切）。 ・Ⅱ期（春休みに実施）：必要書類をウェブ上で提出（10月中旬締切）。

キャリアデザイン学部　SAプログラム

対　象	申請時に1～3年次に在籍、派遣時に2～4年次に在籍しているキャリアデザイン学部の希望者
留学先	ニュージーランド　オーストラリア
期　間	2～4年次秋学期の約3ヶ月間
内　容	オークランド大学（ニュージーランド）、アデレード大学（オーストラリア）の英語教育機関で英語を集中的に学ぶ。
費　用	法政の学費とは別に120～130万円程度
奨学金	学業成績に優れている者に旅費総額の30％程度を支給
手　続	9月下旬～10月上旬に募集説明会開催。10月の募集期間中に出願書類をキャリアデザイン学部窓口に提出。11月中旬に学部内面接選考を実施。12月上旬に参加学生決定。

GIS（グローバル教養学部）Overseas Academic Study Program

対　象	派遣先および本学の条件を満たすグローバル教養学部の希望者	
留学先	アメリカ　イギリス　カナダ	ニュージーランド
期　間	秋学期の3～5ヶ月間	春学期約4ヶ月間または約10ヶ月間
内　容	San José State University（アメリカ）、University of Sussex（イギリス）、University of Prince Edward Island（カナダ）において学部課程の正規授業を受講。	Massey Universityにおいて学部課程の正規授業を受講。
費　用	法政の学費とは別にアメリカ：210万円程度、イギリス：160～220万円程度、カナダ：120万円程度 ※渡航費・保険料等が別途必要	法政の学費とは別に短期：160～170万円程度、 長期：310～330万円程度 ※渡航費等が別途必要
奨学金	(A) 参加決定者全員に短期：50万円、長期：100万円を支給 (B) (A) のうち特に学業成績が優れている者に短期：10万円または20万円、長期：10万円または40万円を加算して支給	
手　続	6月および11月に参加希望者に向けたガイダンスあり。 アメリカ、イギリス、カナダ：1月上旬までに申込み、3月上旬までに参加者決定　NZ：9月下旬までに申込み、10月頃参加者決定	

デザイン工学部　海外派遣プログラム

対　象	2年次に在籍しているデザイン工学部システムデザイン学科の希望者
留学先	フィリピン（セブ島）
期　間	2年次秋学期前半
内　容	南フィリピン大学で英語の個別指導および英語による数学講義（予定）を受けながら、現地に同行するシステムデザイン学科専任教員の専門科目を受講できる（単位認定あり）。
留学費用	法政の学費とは別に30万円程度
奨学金	未定
手　続	1年次1月および2年次4月のガイダンス時に説明会を実施予定。

社会学部　SAプログラム

対　象	申請時に1～2年次に在籍し、必要な要件を満たす社会学部の希望者	
留学先	アメリカ　カナダ　中国	
期　間	2年次秋学期もしくは3年次秋学期の約2～5ヶ月間（留学先により異なる）	3年次の8ヶ月間（カナダ・アルバータ大学のみ）
内　容	ボストン大学（アメリカ）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）、トロント大学（カナダ）、北京師範大学（中国）の語学学校で、集中的に語学を学習する。	アルバータ大学（カナダ）で1学期目に集中英語講座を学習した後、2学期目に法律学、教育学、社会学、経済学、会計学等のコースから正規の学部授業を履修する。
費　用	法政の学費とは別に60～230万円程度必要（留学先により異なる）	法政の学費とは別に180～220万円程度必要（登録する学部授業数により異なる）
奨学金	学業成績が優れている者に旅費総額の30％程度を上限として支給（採用予定約30名）	
手　続	長期SA（カナダ） 4月上旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、選考を経て参加決定。 半期SA（アメリカ、カナダ、中国） 10月下旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、選考を経て参加決定。	

社会学部　単位認定海外短期留学制度

対　象	ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修済の社会学部の希望者
留学先	ドイツ　フランス
期　間	1～3年次の春休み期間、2～4年次の夏休み期間
内　容	学部の認定した外国語研修機関への語学研修参加（ただし留学期間は4週間以上もしくは授業時間60時間以上とする。）
費　用	法政の学費とは別に30～60万円程度
奨学金	特になし
手　続	春学期参加希望者（夏休みに渡航） 5月上旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、担当教員と面接の後に参加決定。 秋学期参加希望者（春休みに渡航） 10月上旬にガイダンス実施。所定の期間に申請書類を提出し、担当教員と面接の後に参加決定。

経済学部　SAプログラム

対　象	申請時に1年次に在籍し、必要な条件を満たす経済学部の希望者（定員約60～100名）
留学先	イギリス　アメリカ　オーストラリア　カナダ ※応募者数によっては、派遣を行わない国もある。
期　間	2年次春学期の約4ヶ月間
内　容	シェフィールド大学（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）、モナシュ大学（オーストラリア）、ブロック大学（カナダ）のいずれも集中的な英語の学習と、その国の経済、ビジネス、文化、社会等の講義との二本立てで構成されている。
費　用	法政の学費とは別に120～160万円程度必要（留学先により異なる）
奨学金	学業成績が優れている者に旅費総額の30％程度（約30～50万円）を支給
手　続	1年次4～5月ごろの募集期間に応募書類を経済学部事務課へ提出。

現代福祉学部　海外研修

対　象	2年次に在籍している現代福祉学部の希望者（定員30名、学部内選考あり）
留学先	スウェーデン　など
期　間	2年次夏休みの8日間程度
内　容	ヨーロッパを中心に海外の福祉や地域づくり、心理に関わる施設を訪れ、現地のまちづくりや文化を学ぶ。
費　用	法政の学費とは別に40万円程度
奨学金	参加決定者に研修費用等の60％（上限15～20万円）までを補助として支給
手　続	4月下旬に学部内選考試験を受験。5月下旬に選抜対象者を発表し、研修申込書類を提出（ただし、選考スケジュールは年度により変更する可能性がある）。

理工学部　SAプログラム

対　象	アメリカ：1～4年次の希望者（定員は生命科学部と合わせて約30名） アイルランド：1～3年次の希望者（定員は生命科学部と合わせて約25名） ※アメリカ・アイルランドともに生命科学部と合同での留学となる。	
留学先	アメリカ	アイルランド
期　間	夏休みの4週間	春休みの4週間
内　容	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、リムリック大学（アイルランド）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。
費　用	法政の学費とは別に50～60万円程度	
奨学金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給	
手　続	（夏）4月初旬に説明会を実施、所定の期間（4月中旬～5月中旬）に申込み手続き、選考の上参加決定 （春）10月初旬に説明会を実施、所定の期間（10月初旬～10月下旬）に申込み手続き、選考の上参加決定	

生命科学部　SAプログラム

対　象	アメリカ：1～4年次の希望者（定員は理工学部と合わせて約30名） アイルランド：1～3年次の希望者（定員は理工学部と合わせて約25名） ※アメリカ・アイルランドともに理工学部と合同での留学となる。	
留学先	アメリカ	アイルランド
期　間	夏休みの4週間	春休みの4週間
内　容	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めることを目的に、リムリック大学（アイルランド）の英語教育機関において集中的に語学を学ぶほか、英語のプレゼンテーション技法に関する講義を受講する。
費　用	法政の学費とは別に50～60万円程度	
奨学金	参加決定者のうち、学業成績が優れている者に10万円または15万円を支給	
手　続	（夏）4月初旬に説明会を実施、所定の期間（4月中旬～5月中旬）に申込み手続き、選考の上参加決定 （春）10月初旬に説明会を実施、所定の期間（10月初旬～10月下旬）に申込み手続き、選考の上参加決定	

スポーツ健康学部　スポーツ健康学海外演習

プログラム	スポーツ健康学海外演習	スポーツコーチング海外演習	スポーツビジネス海外演習
対　象	2、3年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員22名、学部内選考あり）	2～4年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員20名、学部内選考あり）	2～4年時に在籍し、必要な要件を満たしているスポーツ健康学部の希望者（定員15名、学部内選考あり）
留学先	アメリカ	ドイツ、スペイン等ヨーロッパ（変更あり）	アメリカ
期　間	夏休みの2週間	夏休み、もしくは春休みの7～10日間程度（変更あり）	春休みの1週間程度
内　容	ボイシー州立大学（アメリカ）において、午前中はレベルごとに語学学習、午後はスポーツ健康学に関するワークショップを行う。	海外のトップスポーツクラブの現地視察を行い、コーチングの観点を持ちながら多角的に学ぶ。	海外（ニューヨーク）においてスポーツビジネスの基礎を学ぶとともに、国際感覚を養うことを目的とする。
費　用	学費とは別に55万円程度	学費とは別に38万円程度	学費とは別に35万円程度
奨学金	参加決定者に研修費用等の30%までを補助として支給	–	
手　続	（1）実施前年度12月／1月頃に実施の事前説明会へ参加。希望者は参加申込書提出。 （2）参加申込書を基に選考実施。 （3）合格者に対して必要書類を送付。 （4）実施年度4月に参加者ガイダンスを実施、手続きについて説明する。	（1）実施年度に実施する事前説明会へ参加。参加希望者は担当教員へ申し込む。 （2）参加希望者の中から担当教員による選考実施。 （3）合格発表を確認後、参加者に事前授業／参加者ガイダンスを実施、手続きについて説明する。	
その他	–	実施時期によって、4年生には単位が付与されない場合がある。	

情報科学部　SAプログラム

対　象	1～4年次に在籍している情報科学部の希望者
留学先	マレーシア
期　間	夏休み中の4週間半程度
内　容	マレーシア・プトラマレーシア大学にて、2週間の語学スクール、1週間の語学スクール英会話クラス、1週半の学部授業受講の3プログラムを行います。週末にはマレーシア文化体験として、マレーシアの政治的首都見学、世界遺産のマラッカ見学、マレーシアダンスや料理講習などのプログラムも用意されています。
費　用	法政の学費とは別に33万円程度必要
奨学金	選考によりSA奨学金10万円が支給
手　続	詳細は4月に実施するガイダンスで案内します。

2-3. その他の留学

“これまでに紹介した「全学部学科対象の留学制度」や「各学部独自の留学制度」以外にも、様々な留学方法があります。基本的には自分で情報収集をして応募することになります。”

(1) 大学院留学

卒業後に海外の大学院へ進学する場合、留学先の国や大学によって期間、必要書類、留学にかかる費用等が大きく異なりますので、各自で事前に入念な情報収集をする必要があります。

海外大学院の一般的な在籍期間には、1年制と2年制があります。一般的な審査は、CV(履歴書)、推薦状、エッセイ、大学のGPA、TOEFL/IELTS、GRE/GMAT※1などをもとに行われます。GPAやTOEFL/IELTSは非常に高いレベルが要求されるため、大学院進学を考えている方は早いうちから対策を進めておく必要があります。参考として、トップスクールでは、GPA：3.8、TOEFL ibt：100、IELTS：7.5程度のスコアが必要になります。

また、海外大学院進学者を対象とした奨学金には、**日本学生支援機構**の奨学金があります。

日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（海外大学院学位取得型）奨学金は、大学を通して応募する奨学金です。海外留学支援制度(大学院学位取得型)に採用されると、留学地域によって月額89,000円～148,000円が支給されるほか、2,500,000円を上限とした授業料援助があります。選考は提出書類、推薦状によって書類審査が行われ、書類審査に通過すると面接試験が実施されます。今年の応募要件はGPA：2.7以上※2、TOEFL ibt：100以上、IELTS：7.0以上と高く、入念な準備が必要なります。要件は変更される可能性があるので、詳細については毎年9月頃に更新される募集要項で確認してください。

国際交流課では、例年外部講師をお招きして、各種制度や奨学金、具体的な事例について紹介する海外大学院進学のための説明会を実施しています。海外大学院進学を考えている方は、こうした学内の説明会、留学先のHPなどから各自情報収集をしてください。

また、法政大学の大学院へ進学した場合、**「法政大学大学院海外留学制度」**を利用することができます。詳細はP34記載のHPよりご確認の上、各担当事務窓口でお問い合わせください。

※1　GREは大卒以上のアメリカ人を対象にしたテストで、アメリカ大学院進学で提出を求められるのが一般的です。GMATはMBA（経営学修士号）を取得するための人に向けたテストで、アメリカだけでなく多くの大学院で採用されています。

※2　3.0以上のGPを3.0として計算し、2.7以上。

北里　萌

2016年　ベイラー大学（アメリカ）派遣留学生
2018年　法政大学法学部国際政治学科卒業
2019年度JASSO海外留学支援制度（大学院学位取得型）採用
留学先：オックスフォード大学国際関係学修士課程

大学3年次のベイラー大学への派遣留学プログラム終了後、国際関係学への関心が高まり、イギリス大学院への進学を決意しました。国際交流課の皆様にも応援して頂き、修士課程2年目においてJASSOの奨学金を得て勉学に専念することができました。交換留学と比べ、海外大学院に進学することは、時間的・金銭的にコストがかかるため、リスクが大きいと考える方もいると思います。私にとっては、この修士2年間は一生でかけがえのない時間であったと断言します。沢山考え、苦しみ、悩み、そしてやっと少しを学ぶことができました。この少しの「学び」こそが、今後の人生を豊かにする種であると、私は思います。卒業後は就職だけでなく、学び考えを深めるという進路があるということを、より多くの方に知って頂ければ幸いです。今後も、修士課程を経て得た、「自ら考え、動く」という習慣を続け、意義のある時間を刻み、自分の行いに意味が見出せるように生きたいです。

(2) 休学して留学する場合

休学して留学する場合は、基本的に大学を通さず、個人応募で留学することになります。ただし決められた期限内に**「休学」の手続き**をする必要があります。また休学在籍料として、年間休学の場合10万円、春学期または秋学期休学の場合は5万円（別途諸会費が必要）を納入しなければなりません。休学手続きの**詳細は各学部窓口**で確認してください。

休学して留学する場合の注意点
・手続き等はすべて自己責任で進めることになるため、十分に情報収集を行うこと！！
・グローバルデイや留学フェアを活用し、情報収集を行うこと（P.3カレンダー参照）。
・所属学部の担当者、指導教員、国際交流課等に事前によく相談すること。
・外務省 海外安全ホームページなどを事前に確認し、留学中の安全確保に努めること。

(3) トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

本奨学金の概要

◎官民協働で留学を支援する制度で、**返済不要の奨学金等が支給**されます。
◎留学中に**「実践活動」（インターンシップ、ボランティア、フィールドワーク等）が含まれている留学計画**が対象となります。
◎事前・事後研修等を通し、同じように留学をする**仲間とのネットワーク形成**ができます。
◎これまで65名が採用されています。
※本奨学金は、2020年度から内容が大きく変更される予定です。詳しい変更内容については、公式ホームページからご確認ください。以下は2019年度までの実績です。

（1）留学形式
実践活動（インターンシップ、ボランティア、フィールドワーク等）を含んだ**留学計画を自分で立て**、選考を経て奨学金が支給されます。大学への留学だけに限らない、さまざまな形な留学を支援しています。
（2）奨学金額（返済不要）
留学中6～16万円の**奨学金**、**留学準備金**（15万円 or 25万円）、**留学先大学での授業料**（1年以内30万円、1年以上60万円）が支給されます。

小林　舞

コ ー ス：トビタテ10期　新興国コース（タイ）
所属学部：法学部国際政治学科

私は、「タイにおける電気自動車（EV）の普及状況・将来性、EVと電力供給の関係性」をテーマに、8ヶ月間在タイ日系企業3社でインターンシップをしました。インターン先では自動車販売店に訪問してインタビューをしたほか、インターン先以外でもタイ人や在タイ日本人との繋がりを多く作って、現場・現地の声を最大限に聞くことを意識していました。その結果、“タイ・タイ人・海外で働く日本人・自動車産業・電力について多角的に考えることが出来た留学”になりました。
留学中には、文系の私はとにかく車の技術に関して理解することが難しかったり、今の自分に出来ることが何か悩んだりした時期もありました。しかし、その壁を乗り越えることができたのも、トビタテ留学JAPANのコミュニティ内で同期や先輩と繋がることが出来たからだったと思います。留学を終えた今の私にとっての宝物は、留学経験だけではなく、留学後の今でも様々なことについて腹を割って話せる仲間がいることです。

2-4. 国際インターンシップ・国際ボランティア

“法政大学では留学以外にも、学内でできる国際交流のプログラムや語学力向上のためのプログラムが多く用意されています。各自の目的に合わせて、最適なプログラムを選択しましょう。”

(1) 国際インターンシップ

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」では、海外の企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など、学生のキャリア形成支援につなげていくものです。プログラムにより、派遣地域、派遣期間、参加費用が異なります。詳細は、グローバル教育センターホームページにてご確認ください。

募集対象：本学の学部生および大学院生（ただし、研修生、研究生、通教生を除く）
応募方法：グローバル教育センターホームページに募集要項・応募用紙を掲載（夏季は4月末、春季は10月頃の掲載を予定）します。必要事項を記入の上、期限内に各キャンパスGラウンジまでご提出ください。
派遣地域：米国、中国、東南アジア諸国
派遣期間：プログラム毎に異なりますが、1週間から4週間程度です。
参加費用（目安）：20～40万円（国内交通費、航空券、食費・宿泊費、海外旅行保険等）
グローバル教育センターホームページ：http://www.global.hosei.ac.jp/

(2) 国際ボランティア

グローバル教育センターが主催している「国際ボランティア」では、派遣先で必要としている活動に他国の留学生とともに参加し、直接交流することで文化や言葉の壁を越えて、相互に理解を深めながらコミュニケーション能力を養います。詳細は、グローバル教育センターホームページにてご確認ください。

募集対象：本学の学部生（ただし、研修生、研究生、通教生を除く）
応募方法：グローバル教育センターホームページに募集要項・応募用紙を掲載（夏季は4月末、春季は10月頃の掲載を予定）します。必要事項を記入の上、期限内に各キャンパスGラウンジまでご提出ください。
派遣地域：ベトナム
派遣期間：3週間程度
参加費用（目安）：15～20万円（国内交通費、航空券、食費、海外旅行保険等）
グローバル教育センターホームページ：http://www.global.hosei.ac.jp/

押田　悠希

所　属　学　部：法学部国際政治学科
参加プログラム：FPT大学国際インターンシップ（派遣国：ベトナム）

将来は海外で働きたいというビジョンがあり、グローバル教育センターが主催している国際インターンシップへの参加を決めました。勤務先はベトナムのダナンにある旅行会社を選び、約3週間のインターンシップを通じて、日本人観光客向けの旅行プランを作成しました。プログラム全体を通じて、自分が最も重要だと感じたことは「積極的に相手を理解しようとする姿勢」です。現地のベトナム人スタッフと仕事をするにあたり、最初は文化や言語の壁があり、苦労をしました。しかし、自分から積極的に相手を知りたいという姿勢を見せることで、次第に相手も心を開いてくれ、円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。海外で働くうえで、言語能力は大切な要素かもしれませんが、こういった気持の部分も実は大切だということに気づくことができました。皆さんも積極的に新しいことにチャレンジしてみてください。

3 学内で体験できる国際プログラム

法政大学は留学以外にも、学内でできる国際交流のプログラムや語学力向上のためのプログラムが多く用意されています。これらを積極的に利用して留学前の準備や交流を進めましょう。

(1) ESOP（Exchange Students from Oversea Program）交換留学生プログラム

• HUBs（ハブス：Hosei University Buddy system）

HUBsは、法政大学に入学する交換留学生とBuddy（バディ）を組み、留学生の留学中（半年または1年間）の生活サポートを行うボランティアです。Buddyの来日前はメールで日本の生活についてアドバイスをし、来日時には空港での出迎えやキャンパスツアーなどを行います。法政大学留学中は大学での生活補助や日本語学習のサポートなどを行います。休日には留学生と日本の観光地に出かけるHUBsもいるようです。
交換留学生の留学初日から帰国まで携わることができるHUBsでは、日本にいながら世界各国からの留学生と交流を深めることができます。留学生の日本での生活をかけがえのない思い出にする手助けができるのも、HUBsの魅力の一つです。

募集時期：2月上旬、7月下旬
募集方法：グローバル教育センターHP（ニュース・イベント情報）
http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/hubs

岩崎　槙志　法学部国際政治学科2年

Hubsでの経験は人生を変えるほど私にとって大きいものでした。日常的に留学生と関わることで異文化を知ることができたり、楽しい時間を過ごすことができたりしました。しかし、それだけにとどまらず、様々な国から集まった留学生たちと接することは私の中にあった価値観を変えました。留学経験もなく20年近く日本で育ってきた自分の周りには必然的に同じような考えを持った人々が集まっていましたが、留学生たちは見た目、喋る言語、信仰している宗教や考え方など本当に多様な人々が集まっており、その輪に入ることで自分の中にあった「普通」や「一般」などといった概念が崩壊しました。そして、今では偏見などを持たず誰とでもフラットに接することのできる人間に少しは成れたと実感しています。どんな些細な動機であってもHubsに参加すれば様々なことを得ることができると思います。是非皆さんも気軽に応募してみてください！

• 交換留学生向けの英語での授業

海外協定大学から法政大学に交換留学している学生のために、日本の文学、社会、政治、経済、経営などのテーマの授業や演習を**英語で**実施しています。交換留学生だけではなく、一定の英語能力（TOEFL iBT®76等）を持った法政大学の学生も受講することができ、学部によっては卒業所要単位に算入することも可能です。授業はネイティブスピーカーを対象としたスピードで行われ、国内にいながら留学生と共に学ぶことができるため、**留学を考えている人に特におすすめです。**

募集時期：4月上旬、9月中旬
募集方法：グローバル教育センターHP（国際交流プログラム→学内でできる国際交流）
http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/

吉田　幸貴　経済学部国際経済学科3年

私は派遣留学の準備にむけ、英語の練習を授業を通して行いたいと思っていたときに、ESOPのことを知ったので即応募し、「Global Governance」という授業を受けることにしました。この授業は、移民、開発支援、人道的援助、人権、平和の5つの観点から日本政府並びに国際社会がグローバルガバナンスにどう働きかけているかをディスカッション等を通して学びました。難しいところもあったのですが、今問題となっている移民問題などの知見を広げることができたことは、世界に目を向け、国際情勢に興味を持つ大きなきっかけになったと思います。また、ESOPの授業をうけることでよりよい英語の練習になったとともに、派遣留学先の授業がどのような感じで行われるかをイメージすることができたので、勉強に対するモチベの向上にもつながりました。派遣留学を希望している人はこの授業を履修することが勧められていると思うので、ぜひ受けてみてください！

(2) 英語で行う授業／英語学習プログラム

・ERP（英語強化プログラム）

TOEFL iBT®45（PBT/ITP450相当）以上の英語力を備え、英語学習に対し高い意欲を持つ学生を対象としたプログラムです。全キャンパスで実施され、全ての学部生が、**無料**（ただし教材費がかかります）でこのプログラムを受講することができ、授業の空き時間を利用しながら、効率よく英語力のスキルアップを図ることができます。授業は、ネイティブスピーカーを中心とした講師による少人数・双方向の形態となっており、英語4技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）を強化し、実践的な英語力を身に付けることができます。学部によっては卒業所要単位に算入することも可能です。

募集時期：4月上旬、9月中旬
募集方法：グローバル教育センターHP（国際交流プログラム→学内でできる国際交流）
http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/

・グローバル・オープン科目

グローバル・オープン科目は、全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。主に6つの領域から構成されており、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。各領域内で、12単位以上取得した方には、「修了証」が発行されます。

6つの領域：①ビジネス＆マネジメント、②ビジネス＆エコノミクス、③国際関係、④社会と文化、⑤実践英語、⑥科学・技術
※開講科目の詳細は、グローバル教育センターHP（領域別グローバル・オープン科目一覧）をご確認ください。

・Every Day 英会話講座 ～Four Seasons English～

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。少人数のグループレッスンで、英語に慣れていない人でも安心です。

・語学試験対策講座

英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®iBT講座、ERP受講を目指したTOEIC®ベーシック講座、国際展開をはかる企業への就職を目指す学生対象のTOEIC®インターミディエート講座を学内で開講します（有料）。

(3) その他のプログラム

・短期日本語・文化プログラムボランティア

法政大学では、夏季（7月上旬）、冬季（1月下旬）に海外協定大学の学生を対象とした短期日本語プログラムを実施しています。毎回30～50名の留学生が、2週間に渡り日本語授業と日本文化体験を行います。法政大学の学生は、日本語授業及び文化活動をサポートするボランティア学生として参加します。ボランティア学生は、空港への出迎え、日本語授業や日本文化活動での見学やインタビューのサポートを行います。基本的に会話は日本語で行うため、外国語力に不安がある学生も参加することができ、国際交流体験の一歩として最適です。

募集時期：5月下旬、12月上旬
募集方法：グローバル教育センターHP（ニュース・イベント情報）
http://www.global.hosei.ac.jp/news/

池田　千紗　キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科1年

私は大学で国際交流体験をしたいと考え、留学生と同じ寮で生活しサポートをする宿泊ボランティアをしました。レベル別で日本語のクラスがあり、授業のアシストも行いました。
浴衣を着て日本橋を散歩する、日光にみんなで出かけるなど、様々な日本文化体験を一緒に行いました。他にも花火や水風船、おにぎりパーティを自主的に開催しました。留学生のみんなは日本についてとても興味をもっていて、私自身日本文化を考えるきっかけにもなりました。出身地や言語・文化が違っても、みんなで楽しく日常をともにできたことは、貴重でかけがえのない思い出です。二週間という短い時間でしたが、最後にはお別れに涙する生徒も多くいました。このプログラムのボランティア活動は留学の体験に劣らない素晴らしい国際交流体験ができると思います。授業ボランティアからでもぜひ参加してみてください。世界中に友達を作ることができます。

・Gラウンジ

キャンパスにいながら、外国人留学生などネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持ち、より実践的な語学力を身に付けることを目的とし、3キャンパスに「Gラウンジ（Global Lounge）」を設けています。外国人留学生との交流の場だけでなく、英語ネイティブスピーカーである**「英語学習アドバイザー」**が1日3時間常駐し、英語で話してみたい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたい、など様々な希望に対応します。
またERP（英語強化プログラム）英会話講座や国際ボランティア・国際インターンシップの窓口となっています。
※Gラウンジ開室日は授業期間中の月・火・木・金、9：00～17：00となります。

各キャンパスGラウンジ
市ヶ谷　大内山校舎2階　　**多摩**　総合棟地下1階・タマえもん向かい　　**小金井**　管理棟4階

・多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。

・法政グローバルデイ

本学のスーパーグローバル大学等事業の一環として、学生が主体となり企画運営を行っています。
2019年度は国際的な舞台で活躍する実務者を招いてのパネルディスカッション、グローバル教育センターで主催している海外プログラムの紹介、個別相談ブース、その他各種体験型の学生イベントを実施しました。参加者は約400名にのぼり、イベント後の大交流会では、来場者だけでなく協力団体の方も参加し、国際協力・国際交流について活発な意見交換を行い、交流を一層深めました。将来、海外で活躍したいが、何から始めてよいか分からないという方は、是非ご参加ください。

4 留学Q&A

留学の種類について

Q. 認定海外留学と休学留学の違いは何ですか？

いずれも、各自で留学先となる教育機関を選択し出願手続きを行うことは同じですが、以下の違いがあります。

留学制度	法政大学への手続き	留学期間	留学先
認定海外留学	5月（秋から留学開始）、12月（春から留学開始）に認定留学の申請	半年／1年間	学位授与権のある教育機関のみ。 1学期目を大学付属語学学校、2学期目を正規課程への留学も可※1
休学して留学	留学に関しては、無し。 所属学部にて休学の手続きを行う。	連続休学可能な 2年以内で自由に決定	学位授与権のある教育機関、語学学校、専門学校など、自由に選択可能。

［3年生の秋学期から1年間、アメリカの同じ大学の正規課程に留学した場合の概算費用の例］

	認定海外留学	休学留学	
授業料（留学先）	約　2,500,000	約　2,500,000	
現地費用（寮費）	約　1,600,000	約　1,600,000	
合　計	約　4,100,000	約　4,100,000	
法政からの奨学金	約　400,000	－	
留学費用	約　3,700,000	約　4,100,000	
3年次学費	約　1,000,000	約　550,000	（休学は春学期学費＋秋学期在籍料）
3年次学費（2回目）	－	約　550,000	（休学は春学期在籍料＋秋学期学費）
4年次学費	約　1,000,000	約　1,000,000	
学費合計	約　2,000,000	約　2,100,000	
留学～卒業までの総費用	約　5,700,000	約　6,200,000	

※留学先の授業料や現地費用は、留学先によって異なります。
※学費は文系学部の概算となります。

※1　語学留学のみは選択できません。

Q. 4年生の秋学期から1年間認定海外留学をしたいのですが…

4年生で認定海外留学をする場合、休学留学の方が総費用の面で利点が多いケースがあります。
［4年生で認定海外留学をする場合］

メリット	単位修得が可能。認定海外留学の奨学金を受給できる（400,000～900,000円）。
デメリット	留学・卒業時期により5年間分の学費を納入する必要がある。

認定海外留学の場合は単位を修得できるという利点がありますが、既に十分な単位を修得しており単位認定の必要がない場合は休学留学の方が費用をおさえられる場合があります。
ただし、世界ランキング200位以内の大学へ留学する場合や留学先・期間によっては認定留学の方がメリットがある場合があります。国際交流課までお気軽にご相談ください。

留学先の情報について

Q. 留学先の情報はどこで見ることができますか？

大学の留学プログラムに関する情報はグローバル教育センターHP、派遣留学の協定校情報は「各国別留学情報」（P.34参照）で確認できます。また、各キャンパスGラウンジでは過去の派遣留学生の報告書が閲覧できます。各学部の留学プログラムは学部HPをご覧ください。
認定・休学留学など、自己手配での留学に関する情報収集はグローバル教育センターで学内外の留学制度に関する資料を配布しているほか、グローバル教育センターWebサイト・Twitterでは随時学内外の留学情報を発信しています。5月実施の「グローバルデイ」、10月実施の「留学フェア」では外国政府系教育団体を招き、学内外の留学プログラムについて紹介しています。また、各国大使館Webサイトや日本学生支援機構海外留学支援サイトにも留学に関する情報が掲載されています。

Q. 留学先では、どのような授業を履修できますか？

留学先により異なります。基本的に正規留学（1年までの短期留学）の場合、多くの大学では一部の学部を除き全ての学部授業を履修することが可能です。自身の専門以外の授業を履修することもできますが、大学により語学レベルや受講生の専門分野の指定などの条件が設定され、履修が制限されていることもあります。また、詳細はグローバル教育センターや留学先大学のWebサイトを確認しましょう。

Q. 教職課程を履修していますが、留学できますか？

留学することは可能ですが、留学時期によっては必要な科目の履修や教育実習への参加が遅れることがあるため、4年間で教員免許状を取得できない可能性があります。教職課程を履修し、留学を希望される方は教職課程センターへ履修・留学スケジュールについてご相談ください。

派遣留学の選考について

Q. 派遣留学の選考はどのように行われますか？

派遣留学の選考は、日本語と受験言語での面接にて行われます。審査は、学業成績や語学力の高さだけでなく、面接を含めた総合評価にて行われます。面接では留学に対する目的やモチベーション、留学先での学習計画や将来のプランについてブラッシュアップし、話せるようにしておくことが重要です。

奨学金について

Q. 奨学金の情報はどこで得られますか？

学内の留学プログラム（派遣留学、認定海外留学、学部での留学制度等）を利用しての留学の場合は、各プログラムの募集要項等をご確認ください。学内のプログラムを利用せずに留学する場合でも、条件により学外機関の奨学金を利用して留学できることがあります。グローバル教育センターWebサイト「学外機関による留学制度・奨学金情報」ページに奨学金の情報を掲載しています。学外機関の奨学金は短期留学以外に、海外大学・大学院へ正規学生として留学するような長期留学者向け奨学金もあります。

5 留学関連窓口・ウェブサイト

(1) 法政大学の関連窓口

留学に関するご相談はグローバル教育センターで受け付けています。内容に応じ、下記のとおり担当が分かれています。
※学部独自の留学制度については、各学部の窓口にてお問い合わせください。

市ヶ谷キャンパス

国際交流課国際交流担当（大内山校舎2階）

取扱業務　①留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、トビタテ留学JAPAN
　　②ESOP（交換留学生受入れプログラム）
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電　　話　03-3264-9662　　E-mail　ic@hosei.ac.jp

国際交流課SA担当（大内山校舎2階）

取扱業務　市ヶ谷キャンパス学部のSAについて
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電　　話　03-3264-9408　　E-mail　sapro@hosei.ac.jp

グローバルラーニング課（大内山校舎2階）

取扱業務　ERP（英語強化プログラム）、国際ボランティア、国際インターンシップ
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00
電　　話　03-3264-4088　　E-mail　global@hosei.ac.jp

市ヶ谷Gラウンジ（大内山校舎2階）

受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30除く）、土 9：00～12：00

多摩キャンパス

（多摩）グローバル担当（総合棟地下1階）

取扱業務　留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電　　話　042-783-2130　　E-mail　ic@hosei.ac.jp

多摩Gラウンジ（総合棟地下1階）

取扱業務　ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）　　電　　話　042-783-3018

小金井キャンパス

（小金井）国際交流支援室（管理棟3階）

取扱業務　留学全般の相談、派遣留学、認定海外留学、短期語学研修、他
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）
電　　話　042-387-7018　　E-mail　ic@hosei.ac.jp

小金井Gラウンジ（管理棟4階）

取扱業務　ERP（英語強化プログラム）、Gラウンジに関すること
受付時間　月～金 9：00～17：00（11：30から12：30を除く）　　電　　話　042-387-6281

(2) 関連ウェブサイト

法政大学グローバル教育センターWebサイト

グローバル教育センターではWebサイトやSNSで留学に関する情報発信をしています。Twitter・Facebookでは配信限定の情報も発信していますので、ぜひフォローしてください。

■ 留学に関する情報収集はまずここから！

公式ホームページ　Twitter　Facebook　SAプログラムFacebook

■ グローバル教育センターWebサイトで役立つ情報ページ

派遣留学制度ページ　各国別留学情報　学外機関による留学制度・奨学金情報　長期留学派遣制度（海外大学院への留学）

学外の留学制度・奨学金などに関する情報

留学者向けの奨学金情報や、留学先国・地域の安全情報は下記Webサイトからご確認ください。

トビタテ！留学JAPAN（グローバル教育センターHP）　日本学生支援機構 海外留学支援サイト　外務省海外安全HP

法政大学 大学院国際交流プログラム

法政大学の大学院に進学した場合の留学制度については、下記WEBサイトからご確認ください。